

第7次地域保健医療計画の令和元年度取組実績

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)

別紙1 令和元年度調査票（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、各団体）

第7次地域保健医療計画の令和元年度取組実績調査票

1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、維持期までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。
- ・ 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」（以下「とねっと」という。）利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	○市内3病院において脳ドックを実施 ○市内2病院で急性期の治療を行っているが今後は回復病床の充実が望まれる。	市内脳ドック実施はその通り 又、回復病床の充実にも行田総合病院を中心になされている	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定	○会員医療機関において、特定健診26,192件を実施した。	会長
		幸手薬剤師会	○健康まつりでの高血圧予防 ○管理栄養士による栄養指導	○健康福祉まつりで小冊子を配布し、来場者へ高血圧予防の啓発を実施した。	会長
		行田中央総合病院	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○脳ドックの実施 ○栄養指導の推進	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）32件 ○脳ドック 331件 ○栄養指導（前年比 14.6%増）	健康管理センター 栄養科
		行田総合病院	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	○脳ドック、LOXIndex検診、頭痛外来を継続実施し、広報にてこれらの受診の啓発をおこなった。 ○外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	院内健康講座・院外医療公演等により地域の方へ健康への意識を高めてもらえるように実施・公式アプリ公式ホームページを有効活用していく。 検診を行うことでの早期治療を開始できるように患者さんに手の届きやすい情報発信を行っていく。	照会中	事業部・健康管理センター
		新久喜総合病院	○脳ドックの推進（広報活動の推進） ○広報誌による啓蒙	○脳ドック受診等への啓蒙・推進活動（健康教室等）	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○健診結果で抽出された高血圧、脂質異常、糖尿病、心臓病、腎臓病を対象とした保健指導を実施する。	採血結果を当日に確認し、医師と連携し、異常値の受診者については、当日に指導、受診勧奨ができる体制をとっている。 高血圧、脂質異常、糖尿病、心臓病、腎臓病を対象とした保健指導を実施。脳ドックを月・金曜に6回/週実施。	地域連携課・健診センター
		蓮田病院	○広報活動を行ない脳ドックの推進 ○広報活動を行い特定保健指導（動機づけ支援）の実施 ○生活習慣病栄養食時指導の充実	※院内ディスプレイによる脳ドックの推進 実績（MRI/A）148件 ※栄養食事指導実地件数の実施 実績（外来・入院）509件	経営企画室
東埼玉総合病院	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	堀中病院、北葛北部医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し以下の日程で市民公開講座を計画し取組んだ。 ○7/13 幸手市北公民館で医療講演会と健康測定会を開催（132名） ○10/19 進修館（宮代町）で医療講演会と健康測定会を開催（137名） ○2/29 杉戸町での開催は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。	地域医療推進部		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	白岡中央総合病院	○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発。 ○インターネット上での案内、受診しやすい内容のコースを設定し、受診しやすい体制を取る。	○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月の公開講座で、病気予防への啓発を実施。 ○インターネット上での案内、受診しやすい内容のコースを設定し、受診しやすい体制を取り、受診者1,372名増となった。	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	北埼玉医師会	○学術講演会、地域医療セミナー等を通じて顔の見える連携体制の強化を計る。 ○「とねっとカード」を救急時に活用し脳卒中急性期の治療開始の時間短縮を計る。 その観点から住民の「とねっと」への加入増加に努める。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	行田総合病院が参加している。	参加している	会長
		行田総合病院	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークへの連携病院として参加	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークへの連携病院として参加を継続し、救急からの受入れをおこなった。	救急部門 医師
		中田病院	○脳卒中急性期病院での情報交換会への参加	照会中	地域医療 連携室
		羽生総合病院	救急科・脳神経外科の診療科をはじめ、関係する委員会・部署同士で連携して充実を図っていく。	照会中	事業部・ 救急委員会
		新久喜総合病院	○地域医療ネットワークシステム（とねっと）への協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○病診連携の会や救急隊との症例検討会の実施	○患者及び健診受診者への「とねっと」参加の啓蒙 ○病診連携の会や救急隊との症例検討会における意見交換	地域医療課
		済生会栗橋病院	○県の急性期脳梗塞治療ネットワークにはすでに加わっており、tPA投与治療及び血栓回収治療可能な施設として治療に当たっている。今後は、圏域内の他の医療機関と連携して、当番日を設定する各医療機関の脳外科医の負担を軽減しつつ、圏域の脳梗塞治療の充実に努める必要がある。	埼玉県の急性期脳梗塞治療ネットワークに引き続き加わり、医療機関と消防機関が連携する仕組み作りに協力した。 令和元年度tPA件数：20件 令和元年度血栓回収治療件数：14件	診療統括部
		蓮田病院	○脳卒中連携パスの導入に向けて、県の連携会議へ参加 ○脳卒中連携パスによる治療後患者の受け入れ促進 ○救急隊と情報交換等を行ない連携を強化 ○血栓溶解療法（t-PA療法）の連携病院としての体制の充実	※埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会参加 2020/02/06 県民健康センター 2020/02/20 川口市民ホール「フレンジア」 2020/03/09 中止 ※埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）に登録	経営企画室
		東埼玉総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に参加 ○脳卒中地域連携パスの運用継続	○2/6 埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に社会福祉士が参加した。 ○年間89件の脳卒中地域連携パスを運用した。	地域医療 推進部
白岡中央総合病院	○地域医療機関の連携の会への参加、情報交換	○埼玉脳卒中地域連携研究会（2020年2月6日出席）、脳卒中連携パス実績37件	地域・医療 連携部		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	北埼玉医師会	○各医療機関から患者様に丁寧な情報提供を行うように努める。 ○加須市医療診断センター（加須市設立・加須医師会受託運営という日本で唯一の形態を持つ。かかりつけ医からの紹介患者様のみを対象とするCT・MRI・マンモに特化した医療機関）における脳ドックの普及に努める。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	市報やパンフレットにより脳ドックの情報提供をしている。	情報提供している	会長
		埼玉歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	○左記のとおり実施	
		行田総合病院	○ホームページや病院広報誌などでの情報提供	○ホームページや広報誌を使用して住民向けに脳卒中に対する情報提供をおこなった。	地域医療 連携室

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	羽生総合病院	院内健康講座・院外医療講演にて積極的に啓発活動を行う。 さらなる情報充実を図る為、定期発行している広報誌・又電子媒体を有効活用し、外来患者さんにも手の届くように近いところから情報発信を行っていく。	照会中	広報委員会 情報室 関係職員
		新久喜総合病院	○地域住民を対象とした院内外での健康教室での周知 ○病診連携の会等を通じた医療機関への周知	○健康教室等における地域住民への啓蒙 ○病診連携の会や症例検討会における地元医療機関及び救急隊への周知	地域医療課
		済生会栗橋病院	○脳卒中への対応をWeb siteで公表する。 ○市民講座等において治療成績等を提供し、啓発を図っていく。 ○救急隊との勉強会等において、さらに連携及び周知に努める。	救急勉強会により実施。 脳卒中の対応についてはWeb未実施であるが、脳卒中ホットラインを開設しており、活用している。	地域連携課
		国立病院機構 東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、運動指導等の啓発を行う。	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」（年6回）を開催し、参加者に対して運動指導等の啓発活動を行った。 ○市の老人福祉センター及び市内の自治会館に赴き、出前講座を実施（年12回）し、市民健康講座同様の啓発活動を行った。（参加者延べ361名）	リハビリテーション科・地域医療連携室
		蓮田病院	○ホームページ、院内掲示での情報提供 ○救急ワークステーション研修、介護連携会議での情報提供 ○公開講座および広報誌等での啓発活動	※検診センター受診者様へ脳卒中の啓発動画推奨 ※院内ディスプレイの活用 ※ポスターの張り出し	経営企画室
		堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減	
		東埼玉総合病院	○「地域連携の会」を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施する。 開催日：5/21（火） ○脳卒中をテーマにした医療講演会を開催する。 ○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。	○5/21に地域連携の会を開催し、33施設、58名の院外参加者と診療機能等について情報交換した。 ○7/13 幸手北公民館に於いて脳卒中をテーマにした医療講演会を開催した。（132名） ○ホームページや広報資料などでSSN基幹病院である事などの情報を提供した。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○診療案内の更新 地域医療機関や施設への発信	○ホームページ、「診療案内」パンフレット、病院広報誌など適宜更新、また地域医療機関への情報提供や院内掲示にて案内を行った	地域・医療連携部

2 糖尿病医療

（目標）

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の管理栄養士等のスキルアップと指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	各医療機関で特定健診に協力している。 今年度より特定保健指導にも協力している。	各医療機関で協議、協力している 勿論指導にも協力	会長
		埼玉歯科医師会	○特定健診の充実を図る。	○左記のとおり実施	
		幸手薬剤師会	特定健診受診勧奨	検体測定室受検者への受診勧奨	会長

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健 指導の効果的な 実施	杉戸・宮代 薬剤師会	食事・運動療法に関する啓発活動を行う。	健康相談等を介し、食事・運動療法に関する啓発活動	
		行田中央総合 病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進	○特定健診 1676件 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進（前年比 14.6%増）	健康管理 センター 栄養科
		行田総合病院	○特定健診受入体制の充実を図る ○特定健診に対する病院広報誌での情報提供	○特定健診の受入れを行い、糖尿病治療が必要な方に対してかかりつけ医または当院での外来受診を促した。 ○広報誌にて特定健診の案内をおこなった。	健診担当 広報
		中田病院	○特定健診の受診勧奨 ○産業医による訪問・指導	照会中	健康推進課
		羽生総合病院	既存で健康診断を行っている企業様へ保健指導の強化を行っていく。院外医療公演にて受診を促していく。院内のイベントで特定健診（成人病医健診も含む）へ繋がるように医療相談を積極的に開催し充実を図っていく。	照会中	健康管理 センター
		新久喜総合病院	○特定健診及び保健師による保健指導の充実 ○健康祭りにおける健康相談（保健指導・栄養指導）の実施	○保健師による保健指導の充実 ○健康祭りにおける健康相談を通じドックにおける保健指導等の重要性の啓蒙	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、常駐する健診センター医師や保健師から詳細な説明と二次検診の必要性について案内する。	特定健診や生活習慣病予防健診の受診者について、保健師がメタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、必要に応じて受診勧奨や保健指導を勧めた。 当日の階層化、初回面談の実施を可能にしている。 特定保健指導予防健診受診者3292名中、特定保健指導対象者606名、積極的支援該当者401名、動機づけ支援該当者188名、特定保健指導実施件数109件、積極的支援指導実施件数66件、動機づけ支援指導実施件数43件、受診勧奨112名	健診センター
		新井病院	○市民講座・市民祭りにて特定健診受診の啓発活動 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	○市民講座・市民祭りにおいて特定健診の重要性をPR ○特定健診期間中、サイネージ・院内掲示において特定健診のPR ○特定健診受診率昨年対比増	看護部 総務
		蓮田病院	○広報活動を行ない、特定健診の受託強化 ○特定保健指導の受診勧奨	※院内ディスプレイにて特定健診の推進 実績1113件	経営企画室
		秋谷病院	産業医活動の中で、保健活動・指導を積極的に実施	○産業医活動の中で、保健活動・指導を積極的に実施	看護部 事務部
		堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	
		東埼玉総合病院	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムのさらなる充実 ○かかりつけ医と専門医等との連携強化 ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進 ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止 ○オンライン診療による診療の効率化（通院困難者への対応） ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病性腎症重症化予防研究会の実施	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムのさらなる充実に努めた ○かかりつけ医と専門医等との連携強化を図った ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進を行った ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止を行った ○オンライン診療による診療の効率化（通院困難者への対応）未実施 ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進を行った	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合 病院	○受診者全員に対し、糖尿病認定看護師による無料相談の案内 ○地域住民に対し、院内外への掲示、パンフレット配布、インターネットでの案内などによる、特定健診への積極的な受診勧奨を行う。	○看護外来のお知らせ・案内を健診結果に同封 ○院外広報誌に年1回糖尿病のトピックスを掲載	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重 症化予防対策の 実施	北埼玉医師会	○埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力すると共に、協会けんぽの同 事業にも協力する。	概ね計画通り実施した。	理事

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	行田市医師会	各医療機関が左記事業に協力している。	薬剤師会の積極的な協力もあり、医療機関の協力を得ている	会長
		羽生市 歯科医師会	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	会長
		幸手薬剤師会	埼玉県糖尿病性腎症重症化予防支援事業参加	埼玉県糖尿病性腎症重症化予防薬局利用1名フォローアップ 管理栄養士による食事指導	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	薬局における継続支援（フォローアップ）の実施 研修に参加	DM性腎症重症化予防事業への参加	
		行田市薬剤師会	引き続き行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会の協力・連携の元、会員中12薬局で検体測定室（HbA1c）を実施。必要な方は受診勧奨し適切な医療を受けていただくことで、重症化を予防できる。	令和元年度は228名測定し、21名を受診勧奨しました。特に数値の高かった方は《9.8》《8.1》《7.6》《7.5》《7.4》でした。	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	
		行田中央総合 病院	○糖尿病透析予防プログラムの拡充 ○行田市、行田市薬剤師会で実施している市内薬局でのHbA1c測定で、数値が高値の方の受入れ	○糖尿病透析予防プログラムの拡充を図る ○行田市、行田市薬剤師会で実施している市内薬局でのHbA1c測定で、数値が高値の方の受入れ実施	外来他
		羽生総合病院	院内健康講座・院外医療講演を通じて糖尿病予防活動を行っていく。月に一度の栄養指導も継続して行っていく。	照会中	事業部・ 栄養科
		新久喜総合病院	○健康教室での啓蒙 ○人間ドックにおける保健指導の充実	○健康教室等における地域住民への啓蒙 ○保健師による保健指導の充実	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○健診や外来にて蛋白尿を指標にして糖尿病性腎症の拾い上げを積極的に実施する。腎臓内科と協力して、腎臓内科受診を勧奨する。	生活習慣病重症化予防対策事業において、保健指導対象者の選定に協力している。	診療統括部
蓮田病院	○多職種でのチームアプローチによる治療・生活療養指導の実施 ○ハイリスク患者を対象とした管理栄養士、薬剤師による栄養指導の実施 ○公開講座および広報誌等での啓発活動	※栄養サポートチームの構築・施設基準届出の準備 令和2年7月施設基準取得	経営企画室		
白岡中央総合 病院	○院内に糖尿病療養支援チームを発足し、他職種協同で糖尿病合併症の重症化予防に努める。	○療養指導チームによる糖尿病教育入院への関わりと、市民への公開講座、白岡まつりでの合併症予防のためのフットケアの実施。	看護部 (糖尿病認定 看護師)		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	市の依頼により講演会に講師を派遣している。	行田中央総合病院を中心に、在宅、フレイル、認知症等 講演	会長
		行田中央総合 病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○フットケア外来の拡充	○糖尿病患者会活動を実施 啓発活動を充実 ○院内イベント世界糖尿病デーにおいてPR活動 ○行田市公開講座への講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実を図る ○フットケア外来の拡充を図る	関係各部署
		中田病院	○糖尿病患者への入院中から退院時における指導の充実（栄養・予防） ○多職種でのチームカンファレンスの実施 ○糖尿病教育入院	照会中	医師・栄養士・ 看護科
		羽生総合病院	糖尿病教育入院の実施並びに医療講演、糖尿病教室を開催。予備軍などで指導が必要な方で栄養指導を受けていない方等へ情報発信を行っていく。	照会中	事業部・ 栄養科

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	済生会栗橋病院	○常勤の糖尿病専門医が赴任しており、糖尿病患者の教育プログラムの見直しを実施している。今後、外来及び病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	引き続き外来等において糖尿病患者教育プログラムの定期的な啓発活動を行っている。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○年間5回の糖尿病教室を開催 ○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催	○年3回、糖尿病教室・食事会を開催 ○栄養指導件数昨年対比増 ○糖尿病委員会毎月の開催	多職種
		国立病院機構 東埼玉病院	○入院患者に対する栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施する。	○入院患者に対する栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施した。	機能回復部門 （栄養管理室）
		蓮田病院	○糖尿病指導チームの立ち上げによる多職種指導 ○ハイリスク患者を対象とした管理栄養士、薬剤師による栄養指導の実施 ○公開講座および広報誌等での啓発活動 ○糖尿病プログラム、パスの充実	※Web研修「糖尿病と基礎とケア」の実施	経営企画室
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間60件 ・フットケア外来 年間300件 ・透析予防プログラム 年間300件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間500件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム 500件 ・治療中断予防プログラム 300件 ・歯科と連携した予防プログラム 実施 ・生活習慣病予防祭りの開催 1回 ・糖尿病栄養指導件数（個人）年間1,000件	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間103件 ・フットケア外来 年間397件 ・透析予防プログラム 年間432件 ・治療中断予防プログラム 365件 ・生活習慣病予防祭りの開催 1回(11/16実施) ・糖尿病栄養指導件数（個人）年間1,965件	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合 病院	○看護外来の継続（毎週水曜日午前）。 ○糖尿病教育入院パスの活用。 ○地域住民に対し、セミナーなどによる糖尿病の啓蒙活動の実施。	○毎週水曜日の看護外来実績89件 ○教育入院15件 ○市民向け糖尿病シリーズ講座5回	看護部 （糖尿病認定 看護師）
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	「とねっと」の推進	北埼玉医師会	○「とねっと」の更なる普及に邁進する。	概ね計画通り実施した。また、当医師会共催の下記講演会を通じ医師会員の「とねっと」普及への啓発を行った。令和元年7月3日北埼玉地域医療連携セミナー「とねっとの今後の展開」	理事
		埼玉葛歯科医師会	○「とねっと」の普及と活用の周知を徹底する。	○左記のとおり実施	
		北埼玉 歯科医師会	○「とねっと推進協議会への参加	○「とねっと推進協議会への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○「とねっと」参加の促進	○「とねっと」の普及と活用の周知を徹底。	会長
		羽生市 歯科医師会	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	会長
		幸手薬剤師会	「とねっと」の普及活動	とねっと加入推進	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	「とねっと」への登録	「とねっと」への参加・普及活動	
		行田総合病院	○とねっとに参加して処方内容や検査データの共有を図る。	○とねっとに参加して、当院での検体検査結果データの共有を継続実施した。	

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	「とねっと」の 推進	中田病院	○登録への啓発活動	照会中	
		羽生総合病院	院内における掲示物で啓発活動を行う。また院内のイベント毎に担当者を招待して、とねっと加入を促進していく。	照会中	事業部
		新久喜総合病院	○ポスター等掲示による患者への啓蒙活動 ○ドック受診者への啓蒙活動 ○職員への周知活動	○ポスター掲示等による院内啓蒙活動 ○ドック受診者への啓蒙 ○新入職員等への啓蒙	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○住民登録及び加入医療機関の拡大に向けて効果的な広報活動を実施する。また調剤薬局や検査機関の情報も共有できることから、一層患者さんの入院前の状況把握が可能となる。これを日々の診療で活用できるようにする。また今後、このITネットワークを活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築する。	とねっと事務局スタッフが来院し、外来患者に向けて普及啓発活動を行った。2020年1月27日、2月28日に活動しそれぞれ7名、9名の計16名の方がとねっとに加入した。	システム課
		国立病院機構 東埼玉病院	○連携する医療機関と定期的な情報交換会の参加等の実施	○協議会主催の総会・各種部会及びシンポジウムへの参加を果たすとともに、同会議等に出席の各医療機関等と情報交換を行った。 ○とねっと事務局が当院の市民健康講座の際に2回程来て、参加者に説明を行った。	地域医療連携室
		蓮田病院	○「とねっと」加入推進、普及啓発活動	※とねっと普及の為、病院内で受付窓口を開催（2/20） ※幟・ポスターでの普及啓発活動の実施	経営企画室
		東埼玉総合病院	○“とねっと”活用による病院・診療所・歯科・調剤薬局との連携拡充 ○“とねっと”糖尿病（循環型）連携パスによる糖尿病重症化予防 ○「“とねっと”健康記録」活用による自己の健康管理の推奨 ○“とねっと”への紐付け件数の向上 ○“とねっと”の利活用・理解促進のリーフレット作成・配布・啓発活動 ○“とねっと”加入促進（普及啓発）キャンペーン等の実施	○システムの更新により病院・診療所・歯科・調剤薬局との連携が可能となった為、連携の拡充に努めた ○引き続き人間ドッグ受診時にとねっと案内マニュアルの配布等を行い自己健康管理の推奨に努めた ○市民公開講座（年2回）院内加入促進キャンペーン（年1回）にて啓発活動を行うことで、活用・理解・加入促進に努めた	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合 病院	○「とねっと」の情報交換・勉強会に参加	○勉強会には参加できなかったが、院内の委員会にて地域医療情報システムについて職員教育を行った。	情報システム課 ・経営企画課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職のスキル アップ	北埼玉医師会	○当医師会主催の学術講演会等を通じ会員の糖尿病治療のスキルアップを計る。	当医師会主催の下記講演会を通じ医師会員のスキルアップに貢献した。令和元年11月27日北埼玉医師会学術講演会「糖尿病・高血圧の管理」	理事
		行田市医師会	○糖尿病関連の学術講演会を行っている。 ○保健センターでの特定保健指導についてアドバイスを行っている。	行っている 保健センターでのアドバイスも同様に	会長
		北埼玉 歯科医師会	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会員
		幸手薬剤師会	L D C E（埼玉県利根医療圏地域糖尿病療養指導士）の育成と勉強会開催	糖尿病研究会への参加	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	糖尿病治療に関する講習会への参加	糖尿病治療に関する講習会への参加	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催 ○糖尿病簡易検査の検討	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催 ○糖尿病簡易検査の検討	
		行田中央総合 病院	○各種研修会、講習会への職員の参加促進	○糖尿病教育セミナーへ職員の派遣を行った	診療部 看護部 技術部

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職のスキル アップ	中田病院	○糖尿病に関する研修会への参加、未参加職員への伝達講習実施	照会中	
		羽生総合病院	職員を対象とした勉強会を開催し、スキルアップ・知識増加を促す。また院外の勉強会へ関係職員を積極的に参加出来るように促している。	照会中	診療部門・ 教育委員会・ 事業部
		新久喜総合病院	○各種研修会への参加	○関連研修会への参加 ○専門医による院内勉強会の実施	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○常勤の糖尿病専門医が赴任しており、院内研修として糖尿病に関わる勉強会を実施することで、糖尿病チームの専門性のレベルアップを図る。	糖尿病チーム内で個々の職種について、糖尿病に関する専門性を高めるための研修を実施した。	診療統括部
		新井病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の参加及び専門研修会に参加し、質の向上を図る	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会多職種参加 R1.7.12 9名 R1.11.24 14名 ○糖尿病教育をテーマとした看護協会の研修に参加	多職種
		蓮田病院	○日本糖尿病療養指導士による新人看護師教育指導の実施 ○LCDE（地域糖尿病指導士）の育成 ○院内勉強会を開催し職員のスキルアップ	※e-ランニングにて糖尿病の研修を実施	経営企画室
		白岡中央総合病院	○対外的な研修会の実施（看護学校や他の医療機関を対象に糖尿病看護についての研修等を予定） ○糖尿病関連の研修会への積極的参加	○看護専門学校：代謝疾患のある患者の看護 近隣医療機関：糖尿病患者の看護 看護協会：糖尿病患者のフットケア ○研修会参加実績：9件	看護部 (糖尿病認定 看護師)

3 在宅医療の推進

(目標)

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括的かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICTを活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員など医療と介護の各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援 する連携体制の 推進	北埼玉医師会	○北埼玉医師会立北埼玉在宅医療連携室（平成30年度から加須市・羽生市から事業委託を受けている）が「北埼玉在宅医療連携のマナ」を作成する（10月予定）。これによってよりスムーズな連携体制が構築されよう。	計画通り実施した。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼し、同病院を核として連携医療機関が在宅医療を行っている。 ○月1回在宅連携医療機関が医師会館で情報交換会を行っている。	実施計画通り行い、医師会内は纏まりある 行政よりの補助等必要と思われる	会 長
		南埼玉 郡市医師会	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、国立病院機構東埼玉病院と連携して、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行う。また、年2回（9月、2月）在宅関連多職種を対象とする在宅医療研究会を開催予定	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、国立病院機構東埼玉病院と連携して、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行った。 ○在宅医療研究会は、1回目は10月に開催したが、2回目の令和2年2月の研究会を新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止とした。	会 長

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援 する連携体制の 推進	北葛北部医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療・介護の資源の把握 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○在宅医療・介護連携に関する相談支援 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療介護資源把握等のためのアクトリーの実施 ○在宅医療・介護マップの情報更新 ○子育て相談窓口と協働へ向けた情報及び意見交換会の実施 ○地域住民との座談会の実施 ○ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）（10回実施、参加者延394名） ○地域包括ケア会議（12回開催、参加者延152名） ○在宅医療カンファ（事例検討）の実施 ○ICTシステム活用における情報共有方法（セキュリティブ°リシ）の作成と運用（キャラバン活動によるICT使い方周知等普及活動 訪問活動延422件） ○入退院支援意見交換会の実施（2回、76名参加） ○サービス提供責任者アンケートの実施 ○市民の集い（1回実施、参加者103名） ○暮らしの保健室（地域住民主体のサロン等）の活動（開催272日、相談者1,076名、参会者2,663名） ○地域まるごと電話相談の実施 ○みんなのカンファ（11回実施、参加者延135名） ○住民主催の地域ケア会議（3回実施、参加者延65名） ○住民へのパンフレットの発行 ○在宅医療・介護連携推進会議への協力（2回、7名参加） ○菜のはなチャンネル（YouTube） 	在宅医療 連携拠点 事業推進室
		埼玉歯科医師会	○埼玉地区拠点窓口の活動強化	○左記のとおり実施	
		行田市 歯科医師会	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	会長
		幸手薬剤師会	多職種連携会議（ケアカフェ）参加在宅医との勉強会開催	多職種連携会議（ケアカフェ）に参加	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	在宅医療・介護連携推進に関する会議、研修会への参加	在宅医療・介護連携推進に関する会議、研修会への参加	
		行田市薬剤師会	行田市在宅医療・介護連携推進への参加 作業部会（ワーキンググループ）への参加。	行田市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会に参加。地域包括支援センター運営協議会への参加。行田市と三師会ミーティングの参加。ワーキンググループの参加は継続。	
		行田中央総合 病院	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化 ○訪問看護ステーションとの連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化をおこなった ○訪問看護ステーションとの連携強化を行った 	地域連携室 看護部
		行田総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅機関との定期的な情報交換 ○入院時からの早期退院支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅機関へ定期訪問し、広報誌や連携だよりによる診療体制の情報提供をおこなった。 ○MSWにより早期介入を行い、地域のケアマネへの入院連絡や退院支援時に在宅機関とのカンファを実施した。 	地域医療 連携室 MSW
		中田病院	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問看護ステーションを中心とした情報交換の促進 ○MSW・退院支援看護師が在宅サービス事業者と入院から退院時まで積極的に情報交換を行う ○各地域連携の会へ参加 	照会中	訪問看護 ステーション・ 看護部・ リハビリ科・ 地域医療連携室
羽生総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。 ・院内で関わる部署間のスムーズな連携 ・事業所で行っている当院では行えていない業務を吸収して機能の向上を図っていく。 	照会中	在宅支援診療 部・相談室		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	新久喜総合病院	○病診連携の会等を通じ在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネとの意見交換、カンファレンスの実施	○病診連携の会を通じ外部施設との意見交換 ○関係職種によるカンファレンス実施	地域連携室
		済生会栗橋病院	○入退院支援課の専任看護師とMSWが共働してケアマネージャーとの連携を密に行い訪問診療の医師に情報提供する。患者の入院中も連携を取り合う事により密な連携体制を構築する。 ○訪問看護ステーションのスタッフは医師会又は市町村主催の介護医療連携の会に出席する。	○入退院支援課とケアマネージャーとの連携実績 ・介護士支援連携指導236件/年 退院時共同指導112件/年 ○介護医療の会の参加（訪問看護ステーション） ・北埼玉医師会主催：5回参加 久喜市主催：2回参加 加須市主催：2回参加	入退院支援課
		国立病院機構 東埼玉病院	○平成30年度から、南埼玉郡市医師会と連携して「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、各市町及び地域包括センターとの定期的な連携を図るとともに、在宅医療・介護連携に関する業務運営を行う。	○平成30年度から在宅医療サポートセンター事業を開始し、相談件数86件の対応に当たるとともに、医療機関・訪問看護ステーション連携会議を開催した（院内1回、南埼玉郡市医師会との合同開催1回）。	総合診療科
		蓮田病院	○介護連携会議の定期開催とエリア拡大 ○在宅支援者との症例カンファレンスの実施 ○地域医療機関・介護支援者との医療倫理研修の開催 ○行政および薬剤師会等との連携強化	※蓮田病院介護連携会議を院内で開催 ※医療と介護の連絡シート運用 （ケアマネージャーと医師 20件） （ケアマネージャーと看護師 9件） ※在宅支援にて嚙下外来を開設	経営企画室
		秋谷病院	「在宅療養支援ベッド」の受入病院としての役割を果たす。	○受入病院として取り組み内容について、院内で説明を実施	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催	※在宅医療提供体制充実支援事業において、3病院と登録医19名による在宅医療連携システムを実施。登録患者8名 ※サポートケア入院 9名（延べ人数） ※地域包括ケアワーキング 年間 12回開催 152名参加	在宅医療連携拠点事業推進室
		白岡中央総合病院	○ホームページ等での在宅療養支援病院についての広報活動 ○地域包括ケア病棟の地域連携と体制の構築 ○地域医療連携センターの機能の充実 ○入院支援の充実 ○介護保険事業所との連携強化（目標連携回数 34回/月） ○白岡市リハビリテーション協議会による市内セラピスト連携強化（予定会議開催数3回） ○地域ケア会議参加（理学療法士3回、作業療法士8回予定）	○在宅療養後方支援病院のリーフレットを連携の会や訪問の際に配布 介護施設や居宅介護支援事業所を対象とした地域交流会（9月19日開催）にても情報提供を行った。 ○2019年3月に開設した地域包括ケア病棟（14床）では、レスパイト入院相談連携窓口の確立し、レスパイト入院相談を地域から、86件あり連携をはかった。 ○白岡市リハビリ連絡協議会 会議数3回 ○地域ケア会議 PT3回 OT7回参加	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	北埼玉医師会	○7月に当医師会主催で、埼玉県医師会の作成したACP（人生会議）の実践DVDの共同試写会を実施する。その後軽食を囲んで多職種の交流会を開催する。顔の見える多職種協働に有効と期待される。 ○10月に当医師会主催の在宅医療・介護連携推進研修会を開催する。演題は「認知症ケアの倫理—高齢者の尊厳に配慮した意思決定支援—」。演者は箕岡真子氏。 ○11月に当医師会主催のACP推進の多職種連携研修会を開催する。症例についてパネルディスカッションを計画している。	計画通り実施した。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	○包括ケアの中心として多職種連携会議及び各種研修会を行っている。○今年度は喀痰吸引研修会を予定している。	行田中央総合病院が中心となり会議、研修を行った	会長
		埼玉葛歯科医師会	○地域連携病院との連携強化	○左記のとおり	
		行田市 歯科医師会	・地域ケア会議への参加	・地域ケア会議への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○地域ケア会議への参加・助言	○地域ケア会議への参加	会長
		幸手薬剤師会	多職種 特にケアマネとの勉強会開催	地域ケア会議への参加	会長

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	行田中央総合病院	○行田市医師会の在宅連携拠点である在宅医療支援センターの運営を受託し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を進める ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングへの参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力 ○在宅における訪問栄養指導の実施	○行田市医師会の在宅医療支援センターを受託運営。在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を行った ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに医師が参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力をした ○在宅における訪問栄養指導の実施をした	地域連携室等
		行田総合病院	○多職種連携会議や地域のケアマネ会へ参加、協力	○MSWやセラピストが多職種連携会議に参加して意見交換を行い、情報共有を図った。	地域医療連携室 MSW
		中田病院	○多職種による退院前カンファレンスの充実	照会中	看護部・リハビリ科・地域医療連携室
		羽生総合病院	訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	照会中	在宅支援診療部・相談室
		新久喜総合病院	○患者サポート窓口（がん患者支援センター含む）の充実 ○多職種による退院時カンファレンスの実施	○患者サポート窓口を設置し緩和ケアをはじめとした相談窓口の設置 ○MSW・退院支援看護師との退院前カンファレンスによる退院支援	地域医療課
		済生会栗橋病院	○退院後の患者さんの健康管理に対し、当院及び地域の訪問看護ステーションと在宅診療医との連携を深め、患者さんの健康管理を充実させる。	在宅診療が必要な患者さんに対し、病院医師、在宅診療医師、ケアマネージャー、看護師等と退院前にカンファレンスを行った。 ・他機関共同指導 14件/年	入退院支援課
		国立病院機構東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、引き続き、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。 ○平成30年度から訪問看護ステーションを開始し、看護師・医師と連携を密にし、病院から在宅への移行または状態変化時の病院の受け入れ態勢を円滑にする。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等においては、多職種の者が出席することで、より強固な顔の見える関係づくりを構築した。 ○平成30年4月から開始した「雅楽谷の森訪問看護ステーション」においては、開設後、院内多職種との連携を密にするほか、地域への連絡会議等への参加や関係施設への訪問を行う等、地域の中での関係づくりを構築する活動も積極的に行った。	総合診療科（・訪問看護ステーション）
		蓮田病院	○障害者自立支援協議会との連携・協働 ○障害児者を持つ家族のピアサポートの支援を推進 ○行政および薬剤師会等との連携を強化 ○医療メディエーターを育成し患者相談窓口の充実	※埼葛北地区地域自立支援協議会の参加 ※レスパイト入院の受入強化 ※医療メディエーター資格取得（1名）	経営企画室
		東埼玉総合病院	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	※定期的学習会および交流会「ケアカフェ幸手」年間8回 353人参加 ※北葛北部在宅医療介護連携推進協議会運用 ※在宅医療を考える「市民の集い」1月26日開催 103人参加 ※「地域丸ごと何でも相談電話」相談者1,076人	在宅医療連携拠点推進室
白岡中央総合病院	○入退院支援の充実 ○多職種参加による中間、退院前カンファレンスの実施 ○令和1年度訪問リハビリ提供単位 目標1,435単位/月 ○回復期リハビリ病棟入院時訪問件数 目標10件/年 ○回復期リハビリ病棟退院時訪問件数 目標45件/年 ○リハビリテーション計画提供料提供件数 目標12件/年	○入院前からの入退院支援の介入 実績：649件/年 ○中間・退院前カンファレンスの開催 実績：509件/年 ○訪問リハビリ提供単位1,447（回）/月 ○回復期リハビリ病棟入院時訪問件数：0件/年 ○回復期リハビリ病棟退院時訪問件数：28件/年 ○リハビリテーション計画提供料提供件数：15件/年	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	北埼玉医師会	○既に稼働しているMCSを用いた「北彩あんしんリンク」の更なる充実に努める。また新しくバージョンアップした「とねっと」の在宅医療・介護連携への活用にチャレンジする。	概ね計画通り実施した。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	各医療機関でMCSの導入を検討している。	行田中央総合病院が中心となり、導入され症例数も増えつつある	会長

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	南埼玉 郡市医師会	○医療介護連携用ソフト「メディカルケアステーション」の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図る。	○医療介護連携用ソフト「メディカルケアステーション」の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図った。	会 長
		加須市 歯科医師会	○メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	○メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	会 長
		羽生市 歯科医師会	○部員の派遣 ○勉強会への参加	○部員の派遣 ○勉強会への参加	会 長
		幸手薬剤師会	「とねっと」への参加活用	MCSに参加し、情報共有	会 長
		杉戸・宮代 薬剤師会	MCS（メディカルステーション）を活用し、連携を図る。	「とねっと」「MCS」への参加・活用	
		行田中央総合 病院	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用を進める	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用	診療部 地域連携室他
		行田総合病院	○MCS活用の推進	○介護部門へタブレットを配布済み。MCSを活用する方々との積極的な活用を促している。	
		中田病院	○北彩あんしんリングへの参加 ○MCS（メディカルケアステーション）を活用し、連携を図る。	照会中	訪問看護ステーション・リハビリ科・地域医療連携室
		羽生総合病院	在宅支援診療部・介護支援専門員を通じて積極的に行っていく	照会中	在宅支援診療部・介護部門
		新久喜総合病院	○とねっとの活用	○「とねっとシステム」利用者増加へ向けた啓蒙活動	地域医療課
		済生会栗橋病院	○医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築する。	「とねっと」を活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築している。	システム課
		国立病院機構 東埼玉病院	○メディカルケアステーションを引き続き活用し、さらに情報提供・周知・普及啓発を行う。	○メディカルケアステーションを引き続き活用したほか、普及啓発に向け、当院医師による各種会議等への説明を行った。	総合診療科
		蓮田病院	○MCS活用への取り組み ○行政および薬剤師会等との連携を強化 ○蓮田市、白岡市及び宮代町在宅医療・介護関係者連携会議に参加	※蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議の参加	経営企画室
		東埼玉総合病院	○「MCS」運用ポリシーの作成、「MCS」運用方法の浸透 ○「MCS」利用事業所数80施設、利用者数100人 ○「とねっと」への紐づけ数：延べ4,500人	※MCS運用ポリシー H30年7月1日 施行 ※利用事業所数 86団体 利用者数 130名 ※とねっとへの紐づけ	在宅医療連携拠点推進室
白岡中央総合 病院	○「とねっと」の情報交換・勉強会に参加	○MCSの活用に向けて、院内運用の準備を開始した。	経営企画課		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の推進	北埼玉医師会	○地域完結型医療の推進には市民の理解が不可欠である。そのためには「とねっと」への更なる加入促進、かかりつけ医を持つこと等を含めて市民に問いかけることを行政と伴に推進する。	概ね計画通り実施した。	会 長
		行田市医師会	歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護施設との連携及び病院との病診連携を行っている。	左記の通り、各関係団体との連携並びに病診連携は行われている	会 長
		埼葛歯科医師会	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	○埼葛地区拠点窓口の活動強化	

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療 の推進	杉戸・宮代 薬剤師会	地域ケア会議に参加	地域ケア会議に参加・助言	
		行田中央総合 病院	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化を行った	地域連携室他
		行田総合病院	○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進	○近隣医療機関への定期的な訪問を実施して診療体制の情報共有を図った。 ○逆紹介を推進してかかりつけ医との連携をおこなった。	地域医療 連携室 MSW
		羽生総合病院	・地域の医療機関との連携を強化する為に定期的に訪問し情報交換を行う ・かかりつけ医との連携を強化し、紹介患者の受入れや適切な逆紹介を行っていく。	照会中	在宅支援 診療部・相談 室・連携室
		新久喜総合病院	○病診連携の会を通じ当院の役割を説明するとともに地域医療機関への逆紹介を徹底し地域完結型医療の推進をはかる	○関係職種によるカンファレンスの実施 ○病診連携の会での地域医療機関との意見交換 ○連携室を通じ地域開業医との情報共有を図る	地域医療課
		済生会栗橋病院	○地域医療構想に基づき、地域の医療提供体制の再編が求められているなかで、地域医療支援病院として、病々連携と病診連携を促進し住民に対して切れ目のない医療を提供する。 ○他の急性期病院との補完性を高めるとともに、クリニック等との情報共有に努める。また、当院の診療科の整備を充実する。	病病、病診連携については、前年度を上回る成果を上げている。 当院渉外担当者による活動によって補完、充実を図っている。	地域連携課
		国立病院機構 東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、引き続き、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等においては、多職種の者が出席することで、より強固な顔の見える関係づくりを構築した。	総合診療科
		蓮田病院	○行政・消防・介護支援者・地域医療機関を含めた連携強化 ○在宅復帰を目指した地域一体での検討と協力を推進 ○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業における在宅療養支援ベット確保の継続 ○地域医療機関との連携を強化し、紹介患者の受入及び適切な逆紹介の推進	※介護支援等連携指導、退院共同指導の強化 ※埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業における在宅療養支援ベット事業の継続 ※地域連携(医科・歯科) 実績:紹介数 4572件 逆紹介 3474件	経営企画室
		堀中病院	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たす。	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たした。	
		東埼玉総合病院	○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアのワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡充 ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。	※住民主催の地域ケア会議の開催 年間 3回 65名参加 ※暮らしの保健室 44ヶ所 年間 272回開催	在宅医療連携 拠点推進室
白岡中央総合 病院	○地域の医療機関からの紹介と逆紹介件数の推進 ○地域医療機関への定期的な訪問 ○地域医療機関や介護施設等へ回復期病棟や地域包括ケア病棟の情報提供を行い、地域完結型医療の推進を図る。	○地域医療機関、施設への訪問 面会回数:152回 ○連携の会や交流会の開催(2月6日:医療連携の会、9月10日:地域交流会、11月16日:市民公開講座) ○他病院の連携の会に出席し、情報交換を行った。(3回)	地域・医療 連携部		

4 健康づくり対策

(目標)

- ・ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
- ・ ロコモティブシンドロームやサルコペニアの認知度を高め、低栄養や筋力低下の予防を推進します。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	市の関連会議に参加協力している。	当然の如く参加協力した	会長
		南埼玉 郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定	○会員医療機関において、特定健診26,192件を実施した。	会長
		埼玉歯科医師会	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	○左記のとおり実施	
		行田市 歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診(20~30代)の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診(20~30代)の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員
		加須市 歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及びう蝕に関する予防や生活習慣の改善について保健指導(予防指導)を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及びう蝕に関する予防や生活習慣の改善について保健指導(予防指導)を行った。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	島田 顕
		羽生市 歯科医師会	○生活習慣病予防(糖尿病と歯周病の関連性)についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	○生活習慣病予防(糖尿病と歯周病の関連性)についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	会長
		幸手薬剤師会	○健康福祉まつりへの参加 お薬相談 ○子育て支援まつりへの参加	健康福祉まつりへの参加 お薬相談 子育て支援まつりへの参加	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	○杉戸町産業祭における血圧測定 健康相談会を実施	○杉戸町産業祭における血圧測定 健康相談会を実施	
		行田市薬剤師会	行田市ふれあい福祉健康まつりでかかりつけ薬剤師、薬物乱用防止啓発資材、ジェネリック関連資材などを配布する。	令和元年10月20日(日)行田市産業文化会館南側芝生広場にて行田市ふれあい福祉健康まつりが開催された。かかりつけ薬剤師、薬物乱用防止啓発チラシ、ジェネリックのチラシを約550名に配布した。	
		行田中央総合病院	○院内イベントにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣 ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣 ○地域の方を対象とした「サロン」を開催し、健康相談等に応じる	○院内イベントにおける健康啓発展示PRの実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣を行った ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣を行った ○地域の方を対象とした「サロン」を開催した	関係各部署
		中田病院	○公開講座の開催による市民への啓発	照会中	
		羽生総合病院	地域の住民を対象に医療講演を開催し、自身の健康について意識付けを行う。他医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化する。	照会中	地域連携室 事業部
		新久喜総合病院	○各種ドック等の推進、啓蒙活動 ○院内外での健康教室の開催	○健康教室等における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及 ○保健指導等による知識の普及	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○当院が主体的に行う「出張市民講座」や「すこやか市民セミナー」「健康相談」の場で、メタボリック症候群やがん予防・早期発見について情報提供を行う。	令和元年度実施回数の中にテーマとして取り上げた。 また、問合せに対しては都度対応している。	地域連携課
新井病院	○地域のイベント(久喜市民祭り参加予定)に参加し生活習慣予防の啓発活動を行う ○年2回の市民講座を開催し、健康に関する正しい知識を習得	○久喜市民祭り令和元年10月20日 生活予防習慣の啓蒙活動 800名来場 ○年1回の市民講座開催 令和元年11月9日 テーマ 高齢者に多い骨折と骨粗鬆症 86名	看護部 総務		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	国立病院機構 東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、生活習慣病予防等の啓発を行う。 ○看護の日イベントとして、地域住民への医療、お薬、栄養相談等を実施する。 ○「難病相談支援センター事業」及び「エイズホットライン事業」等において県との連携を強化するとともに、難病に対する支援体制の整備又は市民、関係者に対して研修会等を行う。	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」（年6回）を開催し、参加者に対して生活習慣病予防等の啓発活動を行った。 ○看護の日イベントに参加し、医療相談、栄養相談等の他生活習慣病予防に関する各種対応を実施した。（6月7日実施 130人程度） ○地域住民に対し、生活習慣病教室（年6回）を開催し、生活習慣病予防に関する多職種による講話・指導等を行った。 ○難病相談支援センター事業及びエイズホットライン事業における各種相談事業や県民及び院内外関係者に対する研修会を開催した。	機能回復部門 （総合診療科他）、看護部、 地域医療連携室、難病相談支援室
		蓮田病院	○地域の健康まつりに参加し骨密度測定・栄養指導の開催 ○適正な口腔ケアの継続による誤嚥性肺炎の予防方法の啓発 ○生活習慣病栄養食事指導の充実 ○公開講座および広報誌等での啓発活動	※広報紙、ホームページ(かべしんぶん)にて健康に関する記事を毎月掲載	経営企画室
		秋谷病院	地域イベントへの参科や、院内掲示などで啓発活動を実施	○特定健診の院内掲示、主治医による啓発活動を実施 ○予防運動の推進掲示を実施	看護部 地域医療連携室 事務部
		白岡中央総合病院	○看護の日のイベント、白岡まつりで、健康相談や特定健診、がん検診の案内を行う ○職員が白岡マラソンに参加し、健康増進を促す ○介護予防教室開催（6回/年） ○認知症カフェ開催（9回/年）	○看護の日のイベント、白岡まつりで、健康相談や特定健診、がん検診の案内を実施し100名集客。 ○職員が白岡マラソンに参加し、健康増進を実施25名 ○介護予防教室開催（5回/年） ○認知症カフェ開催（8回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科
		新しらおか病院	・認知症カフェに参加し、地域住民の相談窓口を構える ・地域のイベントに参加し、認知症予防の啓発活動を行う ・介護施設等にて講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行う	○認知症カフェに参加し、地域住民の相談に対応 ○地域のイベントに参加し、認知症予防の啓発活動に参加 ○介護施設等にて講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行った	地域連携室
		行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施（12回） ○健康講話と調理実習を通じたリーダー研修の実施（8回） ○鉄剣マラソンに参加 ○田んぼアートに参加 ○食育講座に協力（3回） ○健康講座及び調理実習の実施と協力（3回） ○食改全体研修会の開催	○食生活改善推進員養成講座の実施（12回） ○健康講話と調理実習を通じたリーダー研修の実施（8回） ○鉄剣マラソンに参加 ○田んぼアートに参加 ○食育講座に協力（1回） ○健康講座及び調理実習の実施と協力（4回） ○食改全体研修会の開催（1回）	保健センター
		加須市食生活改善推進員協議会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨等を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行った。（81回、延べ1358人） ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨等を行った。（8回、延べ2125人） ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を行った。（123回、延べ3626人）	健康づくり推進課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	○食生活改善推進委員による調理実習、座学を通じた正しい食習慣の普及啓発（回数：37回、参加延人数：618人） ○市民福祉健康まつりにて、試食配布（600食）、野菜350gの重さ当てクイズ等を実施。	健康づくり推進課
		羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動の普及	○健康運動普及推進員による運動の普及を実施 ・健康運動教室(延べ 5,435人) ・ウォーキング(延べ 195人) ・はつらつ教室(延べ 1,235人) ・市民オープン講座(延べ 14人) ・団体へのストレッチ体操等の教室(延べ1,843人)	健康づくり推進課
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	・健康まつりの食生活改善推進員協議会ブース場者数約1,000人。 ・伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施12回154名。	健康増進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	久喜市食生活改善推進員協議会	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発をする。 ・バランス食講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防教室の開催 ・糖尿病予防講座の開催 など ○市（保健センター以外）や市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発する。 ・いきいきクッキング ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・視覚障がい者グループ料理教室 ・高齢者ふれあい・いきいきサロンクッキング ○食育セミナーでの地産地消の啓発	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の啓発を図った。 ・「骨の健康チェック」での試食提供・展示 ・「作って食べて学ぶバランス食」の開催 ・「始めよういつでもカルシウムUP生活」の開催 ・「糖尿病になりにくい生活習慣を身に着けよう」の開催 ○市（保健センター以外）や市民団体等からの依頼事業を実施し、食を通しての健康づくりの啓発を行った。 ・いきいきクッキング ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・視覚障がい者グループ料理教室 ・高齢者ふれあい・いきいきサロンクッキング ○食育セミナーに参加し、地産地消の啓発を行った。	中央保健センター
		幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりにおいて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○米料理教室の実施	○健康福祉まつりにおいて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発(延べ661人) ○米料理教室の実施(1回、延べ9人)	健康増進課
		白岡市食生活改善推進員協議会	○埼玉県産米料理教室の実施（市民対象） ○低栄養予防や運動機能の維持向上のために、シニアカフェドрил&メニューをテキストとして作成、配布 ○母子愛育会との協働による託児付き料理教室の実施 ○健康まつりへの参加「生活習慣病・ロコモ予防食の試供品の提供」	○埼玉県米料理教室の実施（市民対象）22名：会員8名、参加者14名 ○低栄養予防や運動機能の維持向上のために、シニアカフェドрилとメニューをテキストとして作成し配布（世代別生活習慣病予防のためのスキルアップ事業）（市民対象）：会員9名、参加者13名 ○母子愛育会との協働による託児付き料理教室の実施：会員15名 ○健康まつりへの参加（生活習慣病、ロコモ予防食の試供品の提供） ○簡単健康レシピBOOK（1日の野菜350gを目指して）の利用（白岡市オリジナル）	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室において、バランスのよい食生活について簡単な講話や調理実習を実施する。 ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、塩分測定器を用いた減塩普及活動を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の調理実習を行う。	○料理教室を通じて、生活習慣病予防及び健康づくりに関する普及啓発を行った。（延べ300人参加） ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、地域において塩分測定器等を用いて減塩を呼びかけた。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室を開催し、食を通じた健康づくりを普及する ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」事業協力（調理実習講師等）	○各種料理教室を開催し、講話や調理実習を通じて食を通じた健康づくりを普及した。 ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」で料理教室を開催し、講話や調理指導を行った。	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	各学校に講師を派遣し、喫煙予防講話を行っている。	行田中央総合病院（他、関係医療機関）がかなり密度の高い予防講話を行っている	会長
		幸手薬剤師会	○薬物乱用防止教室への参加 ○禁煙啓蒙	市内小中高での薬物乱用防止教室での講演	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	薬物乱用防止活動を通して喫煙防止活動の実施	薬物乱用防止活動を通して喫煙防止活動の実施	
		行田市薬剤師会	行田市医師会主催の健康フォーラム、行田市ふれあい福祉健康まつり、鉄剣マラソン会場などで呼気中一酸化炭素レベルを測定し、タバコや電子タバコの害を呼び掛ける。また、その様子を日本禁煙学会学術総会にて発表する予定。	行田市医師会主催の健康フォーラム81名、行田市ふれあい福祉健康まつり76名、鉄剣マラソン会場80名の呼気中一酸化炭素レベルを測定し禁煙を呼び掛けた。またその取り組みを第13回日本禁煙学会学術総会（山形テルサ）でポスター発表した。	

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	羽生市薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師を派遣 ○市内イベントでの禁煙啓発活動の実施	○薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師を派遣 ○市内イベントでの禁煙啓発活動の実施	
		行田中央総合病院	○院内イベントにおける禁煙啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化	○院内イベントにおける禁煙ポスター展示を実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、鉄拳マラソン、成人を祝う会などで禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化を図った	関係各部署
		中田病院	○施設内禁煙の実施	照会中	
		羽生総合病院	医療講演・院内健康講座を開催し、禁煙を促していく。また敷地内禁煙を継続し、職員へ禁煙啓蒙活動を行っていく。	照会中	地域連携室 事業部
		新久喜総合病院	○ポスター等院内掲示 ○敷地内禁煙 ○健康教室での啓蒙	○敷地内禁煙及び患者・職員に向けての啓発ポスターの掲示 ○健康教室等における禁煙推進・啓蒙 ○職員喫煙率調査等の実施	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○出張市民講座などで喫煙の有害性等を啓発していく。 ○外来等でも喫煙者に対して禁煙外来を受診するように積極的に誘導する。	令和元年度実施回数のうち本件に繋がるテーマで取り上げた。 ウェブサイトを利用し喫煙者に対して禁煙外来を受診するように積極的に啓発している。	地域連携課 診療統括部
		国立病院機構東埼玉病院	○外来診療枠に、毎週（木曜午後／予約制）禁煙外来を設け、受診希望の患者の禁煙指導を行っている。	○禁煙外来において、受診希望患者に対し禁煙指導を行った。（23件／年）	呼吸器疾患部門
		蓮田病院	○敷地内全面禁煙の継続 ○禁煙外来での動機づけ支援の継続 ○公開講座および広報誌等での啓発活動	※敷地内全面禁煙の継続 ※ポスター等による喫煙での健康被害の啓発	経営企画室
		堀中病院	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等	
白岡中央総合病院	○禁煙外来の継続。 ○敷地内禁煙の継続。 ○職員への禁煙の推奨。	○禁煙外来の継続。 ○敷地内禁煙継続。 ○職員への禁煙の推奨、喫煙ポスターを各部署に設置啓発。	経営企画課 健康管理課		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進	北埼玉医師会	○地域産業保健センターの運営主体として、埼玉県産業保健総合支援センターの指導のもと、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の労働者の健康増進、保健向上のための各種事業を行う。窓口健康相談会、サテライト健康相談、事業場訪問、面接指導、説明会、健康講話等。	計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	産業保健センターを通して中小企業の健診を進め、また、その結果について相談を受けている。	産保センターを通し相談を受けている	会長
		行田市 歯科医師会	○企業歯周病検診の実施	○企業歯周病検診の実施	
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業に訪問して、健康指導や講演会実施した。	
		中田病院	○産業医による訪問指導 ○出張健診（企業）の実施と二次健診受診への啓発	照会中	健康推進課
		羽生総合病院	産業医による定期訪問、指導を行う。 特定健診や企業検診の強化	照会中	事業部・健康管理センター

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署	
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区 組織などと連携 した健康増進計 画の推進	新久喜総合病院	○院外（区長会、婦人会等）での健康教室の開催による啓蒙 ○各種ドックや健康診断受診の啓発活動	○婦人会や区長会を対象とした健康教室等の実施 ○企業健診等の推奨	地域医療課	
		済生会栗橋病院	○近隣の行政が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	2019年5月16日主催の「看護の日」イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行った。	看護部	
		新井病院	○医師を企業に派遣し、健康増進のための講演指導を行う	○公共機関、民間企業の産業医として健康相談及び指導	医局	
		蓮田病院	○地域の健康まつり等の協力参加 ○地域住民対象の健康教室・公開講座・情報交換会の開催 ○ホームページ等での広報活動	※読売新聞の地域版、埼玉よみうりに健康に関する記事を毎月掲載	経営企画室	
		秋谷病院	産業医による保健指導の実施強化	○企業健診の実施 ○産業医活動の実施	看護部 事務部	
		白岡中央総合病院	○産業医による、受診後のフォローアップ強化。 ○白岡市地域はつらつ事業への参加（予定参加回数8回/年）	○産業医による、受診後のフォローアップ強化・有所見者へ二次検診を促進、受診状況確認。 ○白岡市地域はつらつ事業への参加。（参加回数10回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科	
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期 発見、早期治療と的確な保健 指導の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	計画通り実施した。	理事	
		行田市医師会	市の依頼を受け講習会の講師を派遣している。	講師の派遣をした	会長	
		行田市 歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座		
		幸手薬剤師会	市民向け講演会にて講演	消費生活展での市民向け講演	会長	
		行田中央総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	健康管理 センター	
		行田総合病院	○特定健診や人間ドックの充実	○広報誌にて健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことで早期発見とその後のフォローを実施した。		
		中田病院	○特定健診の更なる啓発活動	照会中	健康推進課	
		羽生総合病院	・医療講演にて生活習慣病についての意識付け。 ・各種健診の案内と受診しやすい環境づくり ・外部講師を招いた専門的な医療講演を開催し、新しい角度から生活習慣病等の早期発見に繋がるように活動を行っていく。	照会中	健康管理 センター	
		新久喜総合病院	○巡回検診・施設内健診（各種ドック等）の充実	○健康教室を通じてのドック、健診の受診の推奨 ○健診オプションの充実	健康管理センター	
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を実施、また健診受診者を増やすべく広報活動に力を入れる。	生活習慣病に対する個別指導を保健師が実施。 対象者に電話、郵便等により、担当保健師が連絡を取り、指導が継続できるように個別に対応している。 ホームページ、院外報に案内を記載。	健診センター	
新井病院	○市民祭り、市民講座、糖尿病教室等にて生活習慣病に対する啓蒙活動 ○院内サイネージを利用した生活習慣病予防の情報の発信	○市民祭り、市民講座、糖尿病教室にて生活習慣病予防の活動実施 ○ホームページ、パンフレット配布、院内サイネージによる健診及びドックの受診推奨	看護部 総務			

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	蓮田病院	○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○生活習慣病栄養食事指導の充実 ○公開講座および広報誌等での啓発活動	※特定保健指導の実施・強化	経営企画室
		秋谷病院	特定健診の更なる啓蒙活動や、受診者を増やす啓蒙活動の強化。	○特定健診の実施	看護部 事務部
		白岡中央総合病院	○院内パンフレット、ホームページの充実。 ○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発。 ○健診有所見者に対し、専門外来の受診を案内し、早期治療による重症化予防を図る。	○院内パンフレット、ホームページの内容を分かりやすく修正。 ○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催の公開講座で、病気予防への啓発を実施。 ○健診有所見者に対し、専門外来の受診を案内し、早期治療による重症化予防を図る。有所見者に漏れなく受診案内を実施した。	健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	北埼玉医師会	○北埼玉地区学校保健研究協議会（会長は当医師会会長）を通じ、北埼玉地区約17万人の小・中学校の健康教育（その中でも食育は重要教育）について運営、助言、講話を実施する。また医師会員は学校医の立場でそれぞれの学校保健委員会を通じて食育に関する指導を個々に行う。 ○食物アレルギーのある学童・乳幼児は救急時の対応からも積極的に「とねっと」への加入を勧める。	概ね計画通り実施した。また、当医師会共催の下記講演会を通じ医師会員の小児の成長に関する知識の高揚の実を上げた。令和元年7月3日北埼玉医師会学術講演会「低身長診断と治療～学校健診を含めて」	会長
		行田市医師会	学校医が各校で講話を行っている。	講話を行っているが100%ではない	会長
		久喜市 歯科医師会	○久喜市食育健康まつりへの参加	○久喜市食育健康まつりへの参加	
		行田市 歯科医師会	・学校歯科医師による小中学校講話	・学校歯科医師による小中学校講話	会員
		加須市 歯科医師会	○小学校保健委員会で講話。	○小学校保健委員会で講話。	学校歯科医
		羽生市 歯科医師会	○小学校保健委員会で講話	○小学校保健委員会で講話	会長
		行田市薬剤師会	行田市教育委員会や学校などで、食育の大切さについて働きかける。	行田市教育委員会で食育の大切さを機会あるごとに話した。	会長
		幸手薬剤師会	市内小中学校保健委員会参加	市内小中学校の学校保健委員会に参加	会長
		羽生総合病院	・地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。 ・訪問した際にアンケートを配布し良い点悪い点疑問点等の情報を収集しフィードバックを行っていく。	照会中	事業部 ・栄養科
		新久喜総合病院	○健康祭りにおける、地域関係者、近隣教育施設への参加依頼を促した	○健康祭りや健康教室を通じ地域への栄養士による啓蒙	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○食育セミナー等を通して、食育の重要性を啓発する。	令和元年6月29日（土）に開催された食育セミナーに参加し、パネル展示、栄養相談等を通して食育の重要性について啓発した。	栄養科
		蓮田病院	○行政や学校栄養士との情報交換 ○学校等への病院管理栄養士の派遣	※実績なし	経営企画室
白岡中央総合病院	○市民公開講座にて食育に関する講演の実施。	○市民公開講座にて食事の大切さについて講演行った。	栄養科		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	羽生市食生活改善推進員協議会	○小学生を対象とした親子料理教室の開催	○親子お魚クッキング教室の実施（回数：1回、参加者19名） ○親子おやつ作り教室の実施（回数：1回、参加者13名） ○こども郷土料理体験教室（回数：1回、参加者15名）	健康づくり推進課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日、冬1日）	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日・冬1日開催、親子延べ66人）	健康増進課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○小学生とその保護者を対象としたおやこ食育教室の開催	○小学生とその保護者を対象としたおやこ食育教室を開催した。	健康支援課

5 親と子の保健対策

（目標）

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	市内の産婦人科で行っている。	左記同様、市内産婦人科で行った	会長
		行田中央総合病院	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	外来（産婦人科）
		羽生総合病院	産婦人科を受診しやすい環境作りの為、院内掲示を掲載を継続し、サポートセンターなどで相談される際にも個室で相談に乗る等、利用する人にとってより良い環境で来院出来るように、また他の医療機関を紹介する際にはスムーズに照会できるように医療機関との連携を図っていく	照会中	産婦人科・サポートセンター
		白岡中央総合病院	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方など）	○受診時になどに、育児に関する不安・疑問について、適宜相談を行った。	小児科
		山王クリニック	○埼玉県早期不妊検査費、不育症検査費助成事業の助成対象医療機関として支援を行う。	不妊、不育外来の予約体制を整備して、相談しやすい環境を整えた。	産婦人科
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理事
		行田市医師会	校医が担当している。	左記同様、校医が担当	会長
		行田市 歯科医師会	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	会員
		幸手薬剤師会	薬物乱用防止教室開催参加	小中高校での薬物乱用防止教室講演	会長
		行田中央総合病院	○小中学校における「命の授業」の実施	○小中学校における「命の授業」の実施、職員の派遣	産婦人科
		羽生総合病院	小児科より対象者の方へ院内臨床心理士によるカウンセリングへの紹介の推進を継続していく。	照会中	小児科・臨床心理士
		白岡中央総合病院	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方など） ○乳幼児健診希望者への健康診断の実施	○受診時になどに、育児に関する不安・疑問について、適宜相談を行った。 ○希望者に対する健康診断の実施。	小児科
		加須市 母子愛育連合会	○遊びの広場や三世代交流会を開催	遊びの広場を34回 参加人数1,025人、三世代交流会を10回 参加人数1,289人を実施した。	健康づくり推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による子育て 支援	北埼玉医師会	○児童虐待の防止が一番の課題である。当医師会会長は約15年にわたり加須市要保護児童対策協議会の構成機関の中核として児童虐待に関する助言・指導を行ってきた。関係機関と更に一層の連携を計る。 ○当医師会立訪問看護ステーションは医療的ケア小児に対し、関係機関と連携し引き続き質の高い看護サービスを提供する。	計画通り実施した。	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教の開催	
		幸手薬剤師会	子育て支援まつりへの参加	子育て支援まつりへの参加	会長
		羽生総合病院	例年同様、積極的に地域の連携会などへ参加していく。 また地域の医療機関へ積極的に連携会議などを行えるように 推進・依頼していく。	照会中	地域連携室
		土屋小児病院	○発達障害児支援のため久喜市との勉強会の開催	2回実施	小児科
		白岡中央総合 病院	○小児予防接種の充実（小児・乳幼児定期予防接種13種）	○各種予防接種施行	小児科
		山王クリニック 山王ドーム クリニック	○妊娠中から出産後まで、地域と連携し子育て支援を行う。	養育支援連絡票を用いて、地域と連携している。産後ケア事業を実施している。	
		羽生市 母子愛育会 連合会	○保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の測定補助） ○市民福祉健康まつりにおいて「赤ちゃんハイハイコンクール」の開催 ○家庭訪問にて高齢者や母子への声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施 ○研修会の開催	○保健センターの保健事業へ協力した（乳幼児健診協力 年44回 延132人） ○市民福祉健康まつりにおいて「赤ちゃんハイハイコンクール」を開催した（参加者38組） ○家庭訪問にて高齢者（74件）や母子（177件）へ声かけ、赤ちゃん誕生訪問（87件）を行った。 ○各支部において研修会を開催した（計16回 参加者延360人）	健康づくり 推進課
		久喜市 母子愛育連合会	○各地区保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の補助、がん検診の託児 等） ○各地区まつりへ等の参加協力 ○子育て支援イベントの開催 ○地域の小学校に出向き、授業への協力 ○研修会の開催	○各地区保健センターの保健事業への協力（回数136回、延べ264人）（乳幼児健診の補助、がん検診の託児 等） ○各地区まつりへ等の参加協力（延べ118人） ○子育て支援イベントの開催（14回、延べ167人） ○地域の小学校に出向き、授業への協力（3回、延べ55人） ○研修会の開催（14回、169人）	中央保健 センター
		蓮田市 母子愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問 ○乳幼児健康診査未受診者への訪問 ○各地区での母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋掘り、公園で遊ぶ会、幼稚園サロン等）の開催 ○子育てミニフェスタ等への参加 ○研修会の開催	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問（年3回延1101回） ○乳幼児健康診査未受診者への訪問 ○各地域において母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋掘り等）の開催（年72回820名参加） ○子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催（年2回） ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	子ども支援課
幸手市 母子愛育会	○健康増進課の保健事業に託児協力 ○地域の小学校に出向き、「命の大切さ事業」を実施 ○健康福祉まつりに参加	○健康増進課の保健事業に託児協力（離乳食講習会保育ボランティア5回 保育18人 協力会員延べ8人） ○地域の小学校に出向き、「命の大切さ事業」を実施（9校 380人 協力会員延べ57人） ○健康福祉まつりに参加し幼児の体重測定、手作りおもちゃの紹介を実施（協力会員延べ10人）	健康増進課		

実施主体	主な取組	機関名	令和元年度実施計画	令和元年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による子育て支援	白岡市 母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターの保健事業に託児協力 ○健康まつりへの参加 ○乳児教室等の開催 ○食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の開催 ○家庭訪問による声かけ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターの保健事業に託児協力（母親学級4回、離乳食教室11回） ○健康まつりへの参加（班員45名で実施、手形取り参加者156名） ○幼児教室等の開催（本部幼児教室4回、地区幼児教室12回、三歳児料理教室1回、救急法1回・参加者9名） ○食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の開催（班員8名、親子4組の参加） ○家庭訪問による声掛け（訪問件数1696件、声掛け10件） 	健康増進課
		杉戸町 母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布 ○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室で保育協力 ・ママパパ教室で技術協力 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 254件 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー196個・母子手帳カバー配布202枚配布 ○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室で保育協力 4回 ・ママパパ教室で技術協力 3回 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力 5回 	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	○加須市からの委託事業として、当医師会員による母親向けの出前講座「子供の急病時の対応」を引き続き年4回開催する。適正受診に寄与することを期待する。	計画通り実施した。	理事
		行田中央総合病院	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	外来
		行田総合病院	○小児救急医療支援事業への継続的参加	○計画通り、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療および小児救急診療の体制を維持し、実施した。	救急部門 医師
		羽生総合病院	時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続していく。	照会中	小児科
		済生会栗橋病院	○出張市民講座やすこやか市民セミナー、小児救急医療勉強会の場をととして、家族や学校保健師などを対象に、#7119または#8000などを利用できることを啓発する。	令和元年度、取り上げる機会はなかったが、東部北地区の二次救急輪番病院（小児）として役割を果たしている。	地域連携課
		土屋小児病院	<ul style="list-style-type: none"> ○電話相談・トリアージの実施 ○久喜市休日夜間診療所の依頼による支援業務の実施 ○小児2次救急輪番の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 休日・時間外に常時実施 休日・祭日 75日、計91回実施 休日・夜間 計 367回実施 	小児科
		蓮田病院	・埼玉県救急電話相談（#77119）及び子供医療電話相談事業（#8000）の案内、情報提供	※ポスターによる子供医療電話相談事業（#8000）の情報提供。	経営企画室
白岡中央総合病院	○埼玉県救急電話相談（#7119）、こどもの救急「#8000」の案内を行い、休日・夜間における適正な小児科受診の啓発を行う。	○受診時の案内やポスター掲示により情報提供を行った。	小児科		